

## 戦略について



石川県産業革新戦略委員会座長  
元北陸先端科学技術大学院大学学長

慶伊 富長

前回の「石川県産業高度化10ヵ年戦略」に引き続き、このたびも、産業活性化の長期ビジョン「石川県産業革新戦略」の策定に提言させていただきました。

今回の戦略は、抽象的な理念の提示にとどまらず、積極的に県内企業の声を聞くという現場主義に基づいた具体的な戦略になっていると思います。施策の方向性といたしましても、従来の地場産業の高度化、新規創業支援などとは異なり、新しい産業を創造し、次の時代を担うような企業の育成というように大きく舵をきっております。また、人口減少時代を迎えて、新に産業人材の育成にも力点をおくこととしております。

石川県は、高度教育機関の集積などに見られるように、各種の基盤整備がよく、大きな潜在力を秘めていると考えております。他方、今回の分析結果の示すように産業間連携の弱さなどの課題もあります。これらを踏まえ、予防型社会創造産業、地域ブランド創造産業、豊かさ創造産業などのプロジェクトのように、具体的なプロジェクトや施策を行うこととなっております。

県は、財政的に厳しく、他方、地方分権により、施策の自由度が増しつつあります。また、各大学は地域経済への積極的な取り組み開始の機運にあり、地域一体的な産業活性化の状況ができつつあります。したがって、今回提示した目標に向かって、石川が地域間競争に勝ち抜き得る施策に積極的に取り組みことをお願いしたいと考えております。

平成17年3月